

6616



Torex...Powerfully Small!

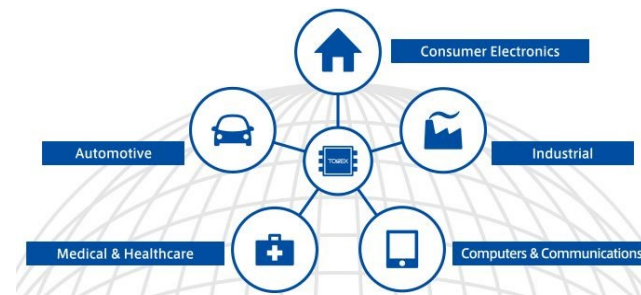
2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月19日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている

あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



1

2025年3月期 第2四半期業績

2

2025年3月期 業績予想

3

株主還元

4

トピックス

Appendix

2025年3月期 第2四半期業績



トレックスは、日本、欧州市場の売上が減少し減収となったが、為替の影響と棚卸評価損の戻りが発生し、増益



フェニテックは、欧州、北米市場が減少し、減収減益



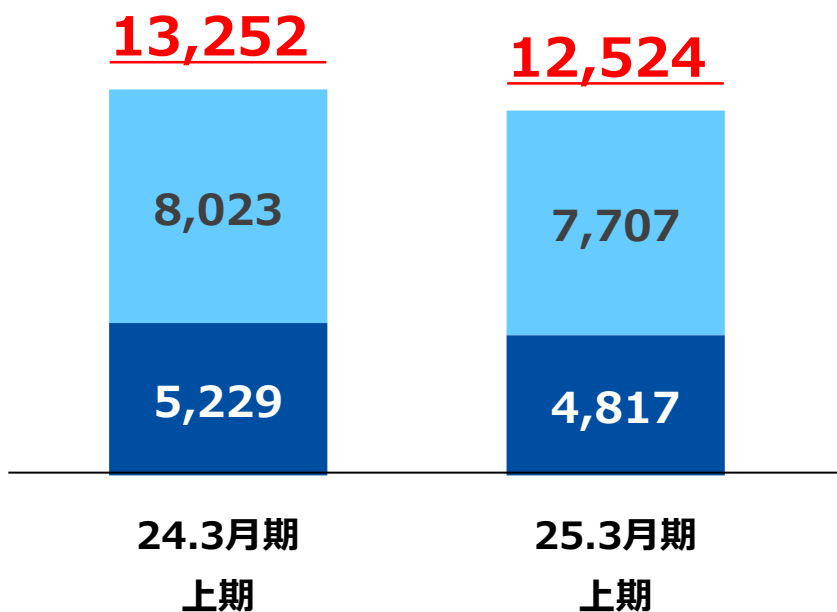
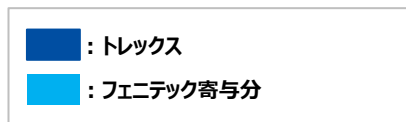
市況の回復のスピードが想定を下回り、通期の業績予想を下方修正

(単位：百万円)

	24.3期 上期実績	25.3期 上期実績	対前年同期比 増減率
売上高	13,252	12,524	▲5.5%
営業利益	89	336	277.2%
営業利益率	0.7%	2.7%	2.0pt
経常利益	▲266	69	—
親会社株主に 帰属する中間純利益	▲199	5	—
EPS (円)	▲18.15	0.51	—
海外売上高比率 (*1)	68.0%	70.2%	2.2pt
平均為替レート (1\$=)	¥141.3	¥152.2	7.7%
減価償却費	924	1,066	17.8%
設備投資	2,377	1,696	▲28.6%

(*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 中国市場は回復傾向にあるものの、日本・欧州市場の落ち込みにより減収
- 産業機器、一般民生機器分野が減少

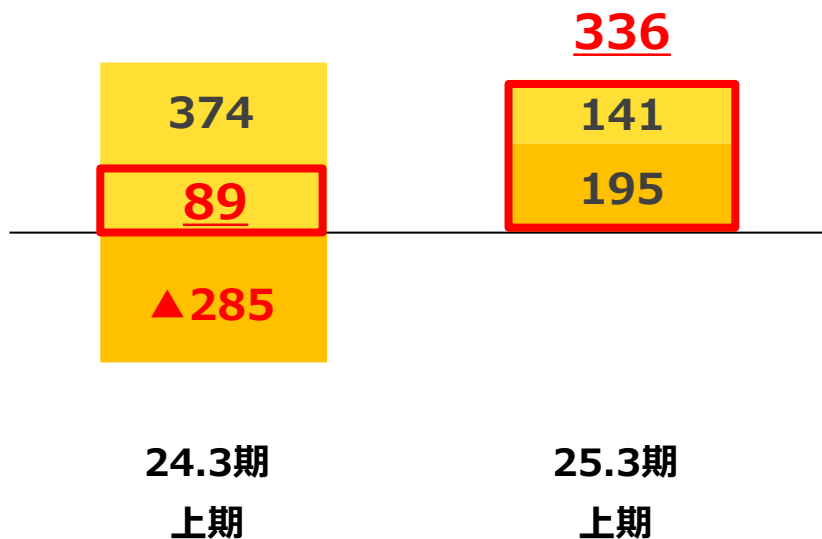
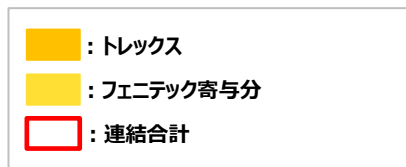
➤ フェニテック

- 中国市場は回復したが、それ以外の地域が減少し、減収
- 産業機器、車載機器分野が減少

(単位：百万円)

	24.3期 上期実績	25.3期 上期実績	対前年同期比増減率
売上高	13,252	12,524	▲5.5%

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 為替の影響と棚卸評価損の戻りが発生し、増益

※前期：棚卸評価損の発生 570百万円
 当期：棚卸評価損の戻り 310百万円

➤ フェニテック

- 売上の減少に伴い、減益

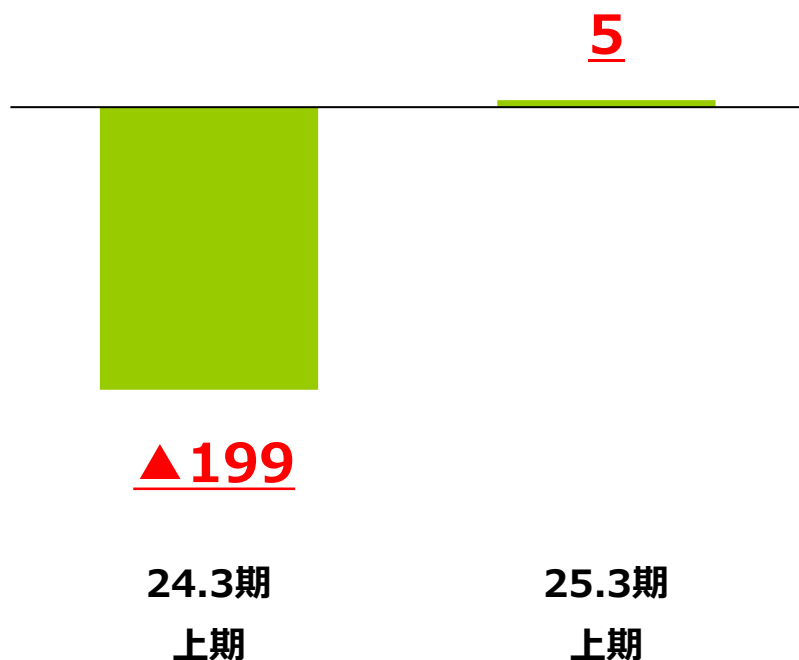
(単位：百万円)

	24.3期 上期実績	25.3期 上期実績	対前年同期比増減率
営業利益	89	336	277.2%

2025年3月期 第2四半期業績 親会社株主に帰属する 中間純利益



(単位：百万円)



営業利益の増加により、各段階利益も増加。

法人税等の計算上、税金費用が増加したため、若干の利益。

(単位：百万円)

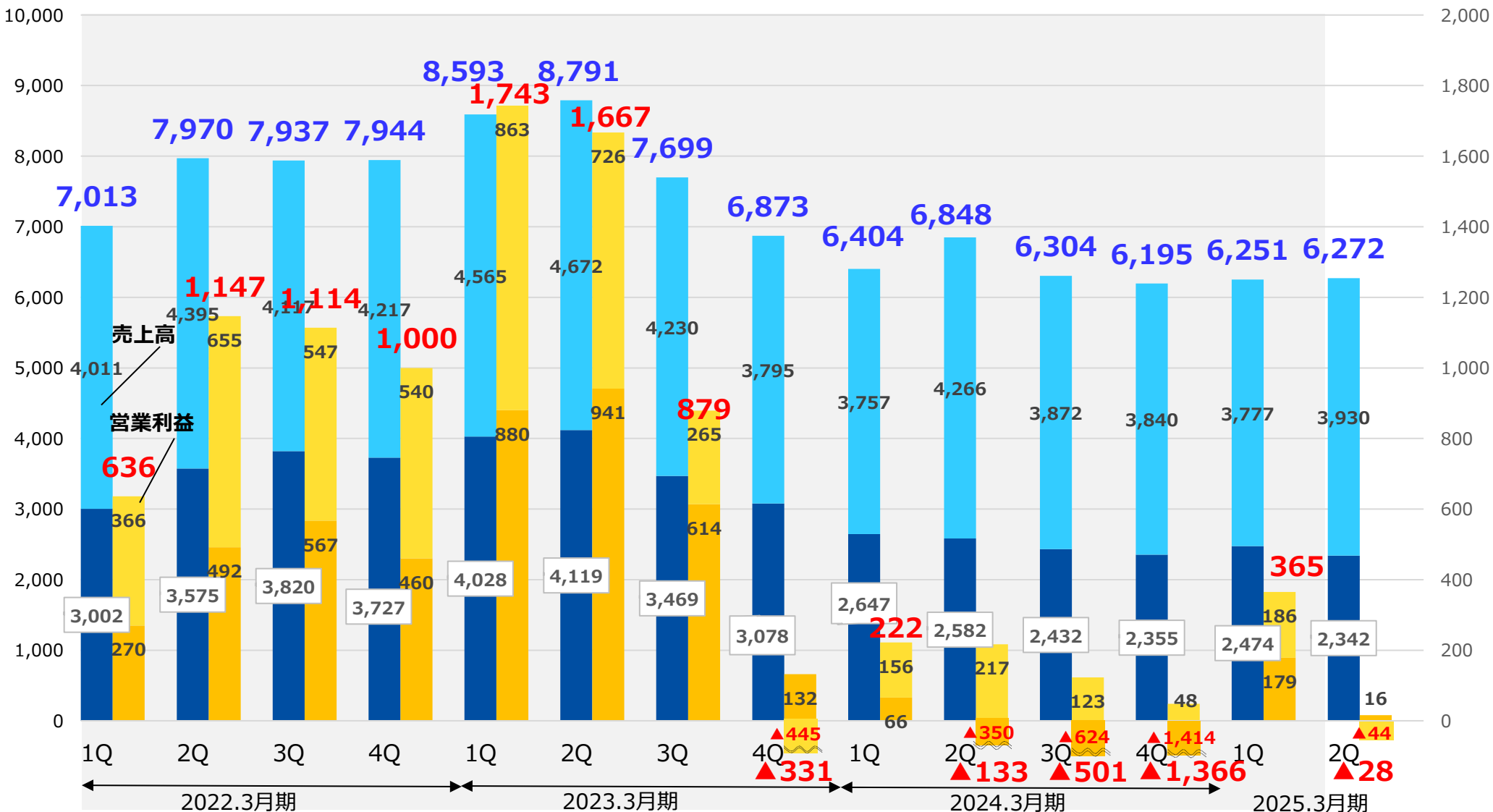
	24.3期 上期実績	25.3期 上期実績	対前年同期比増減率
四半期純利益	▲199	5	—

売上高・営業利益の四半期推移



(左軸：売上高) トレックス : ■ ■
 (単位：百万円) フェニテック : ■ ■

(右軸：営業利益)
 (単位：百万円)



(単位：百万円)

科目	24年3月期末	25年3月期 上期末	対前期末増減
資産	36,636	37,640	1,004
負債	16,083	17,454	1,371
純資産	20,552	20,185	▲367

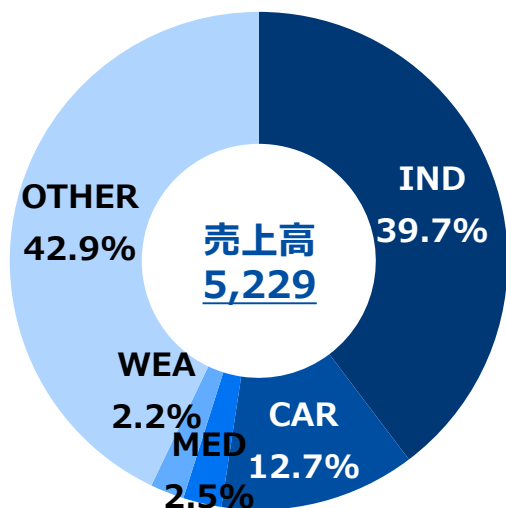
<参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

科目	24年3月期末	25年3月期 上期末	対前期末増減
有利子負債	11,314	14,152	2,838
自己資本比率	56.1%	53.6%	▲2.5pt
D/Eレシオ	0.55	0.70	0.15pt

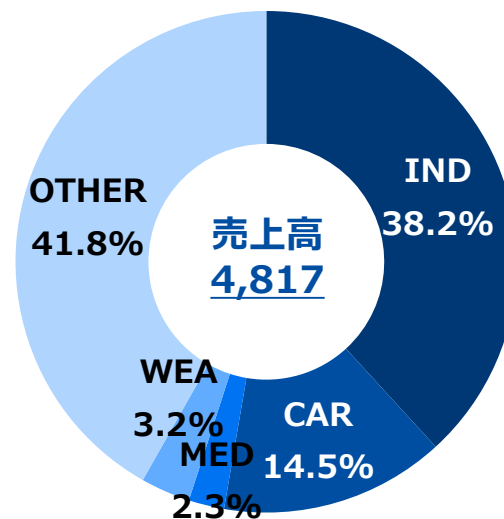
トレックス／フェニテック 各単体

2025年3月期 第2四半期業績 ～アプリケーション別売上高（トレックス）

TOIREX



24.3期上期実績



25.3期上期実績

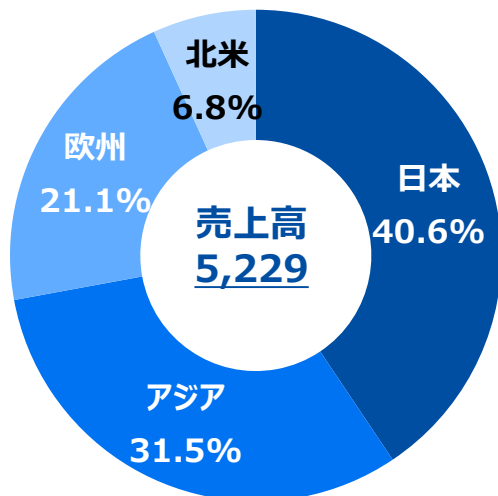
(単位：百万円)

アプリケーション	24.3期 上期		25.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	2,078	39.7%	1,842	38.2%	▲11.4%
CAR 車載機器	663	12.7%	699	14.5%	5.4%
MED 医療機器	132	2.5%	112	2.3%	▲15.2%
WEA ウェアラブル機器	113	2.2%	155	3.2%	37.2%
OTHER その他機器	2,243	42.9%	2,009	41.8%	▲10.4%

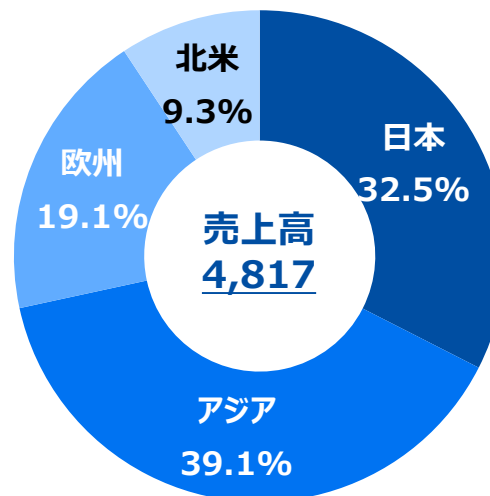
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2025年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（トレックス）

TOIREX



24.3期上期実績

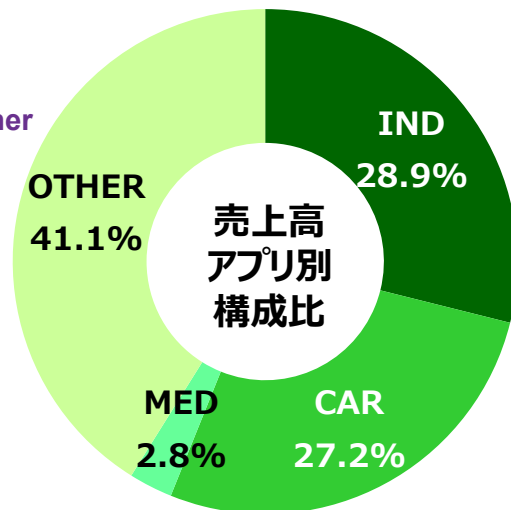


25.3期上期実績

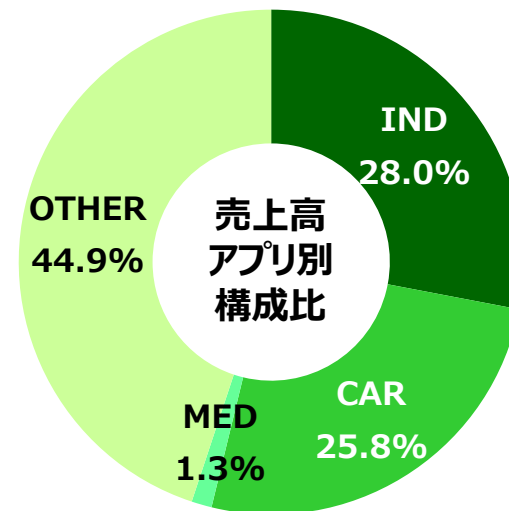
(単位：百万円)

地域 (D-in)	24.3期 上期		25.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	2,125	40.6%	1,566	32.5%	▲26.3%
アジア	1,647	31.5%	1,883	39.1%	14.3%
欧州	1,105	21.1%	921	19.1%	▲16.7%
北米	352	6.8%	447	9.3%	27.0%
平均為替レート (1\$=)	141.3円		152.2円		-

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高



24.3期上期実績



25.3期上期実績

(単位：百万円)

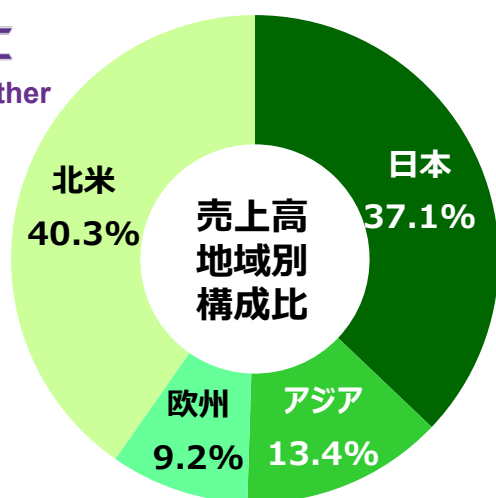
アプリケーション	24.3期 上期		25.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	2,479	28.9%	2,317	28.0%	▲6.5%
CAR 車載機器	2,335	27.2%	2,137	25.8%	▲8.5%
MED 医療機器	244	2.8%	110	1.3%	▲54.9%
OTHER その他機器	3,529	41.1%	3,706	44.9%	5.0%

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

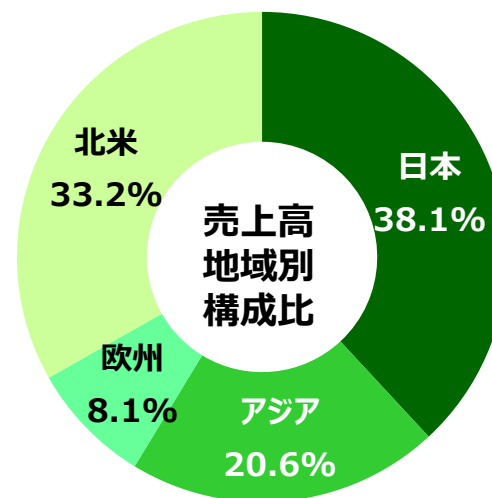
トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含みます。

お客様から用途を開示頂けない製品は、その他機器に含めております。

2025年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（フェニテック）



24.3期上期実績



25.3期上期実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

地域（顧客）	24.3期 上期		25.3期 上期		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	3,191	37.1%	3,147	38.1%	▲1.4%
アジア	1,152	13.4%	1,705	20.6%	48.0%
欧州	787	9.2%	672	8.1%	▲14.6%
北米	3,457	40.3%	2,746	33.2%	▲20.6%
平均為替レート（1\$=）	141.3円		152.2円		—

※注：日本には、トックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2025年3月期 業績予想

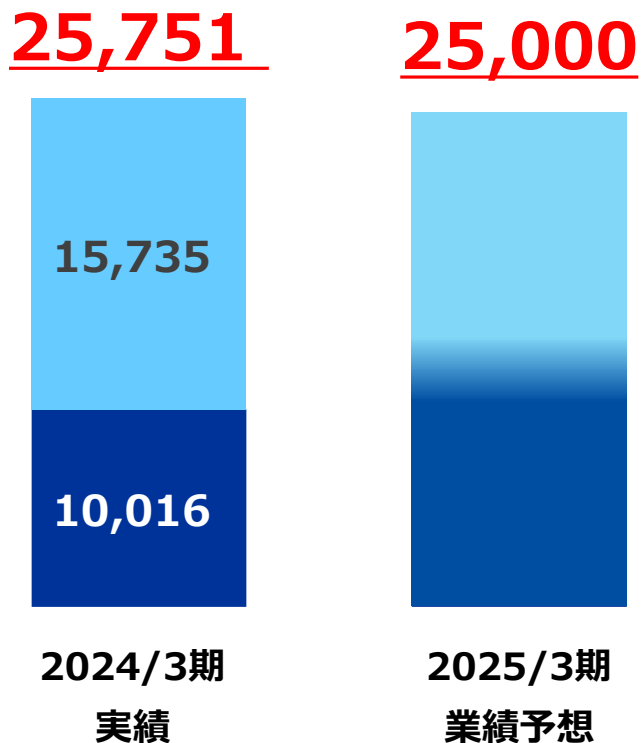
市況の回復遅れに伴う在庫調整の長期化による売上の減少と為替差損の発生により、通期予想を下方修正

(単位：百万円)

	24.3期 通期実績	25.3期 業績予想 (当初)	対前年 同期比 増減率	25.3期 業績予想 (11/14)	対前年 同期比 増減率
売上高	25,751	28,000	+8.7%	25,000	▲2.9%
営業損益	▲1,778	1,000	-	400	-
営業利益率	-	3.6%	-	1.6%	-
経常損益	▲2,452	1,000	-	100	-
親会社株主に 帰属する当期純損益	▲4,297	700	-	0	-
EPS (円)	▲390.73	63.63	-	-	-
平均為替レート (1\$=)	¥144.4	¥150.0	-	¥150.0	-
減価償却費	2,350	3,000	+27.7%	2,700	+14.9%
設備投資	5,284	3,600	▲31.9%	3,600	▲31.9%

(単位：百万円)

■ : トレックス
■ : フェニテック寄与分



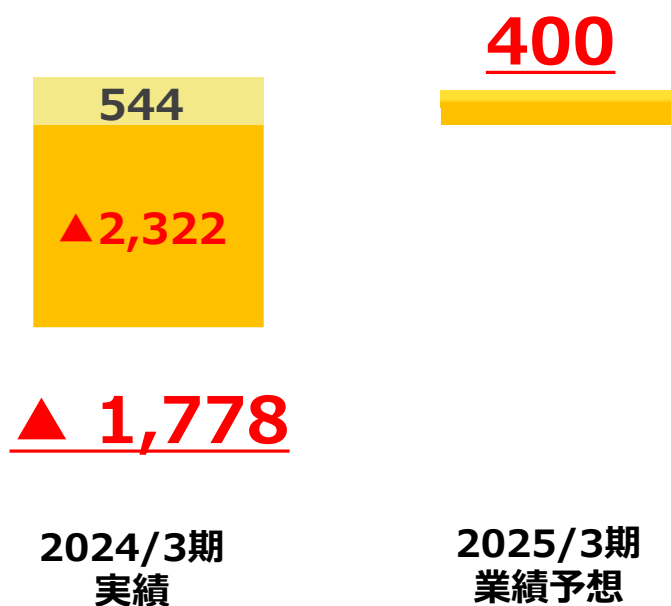
市況の低迷に伴い在庫調整が進まず、
通期の業績予想を下方修正

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	対前年増減率
売上高	25,751	25,000	▲2.9%

(単位：百万円)

■ : トレックス
 ■ : フェニテック寄与分



売上の減少に伴い、営業利益も
 下方修正

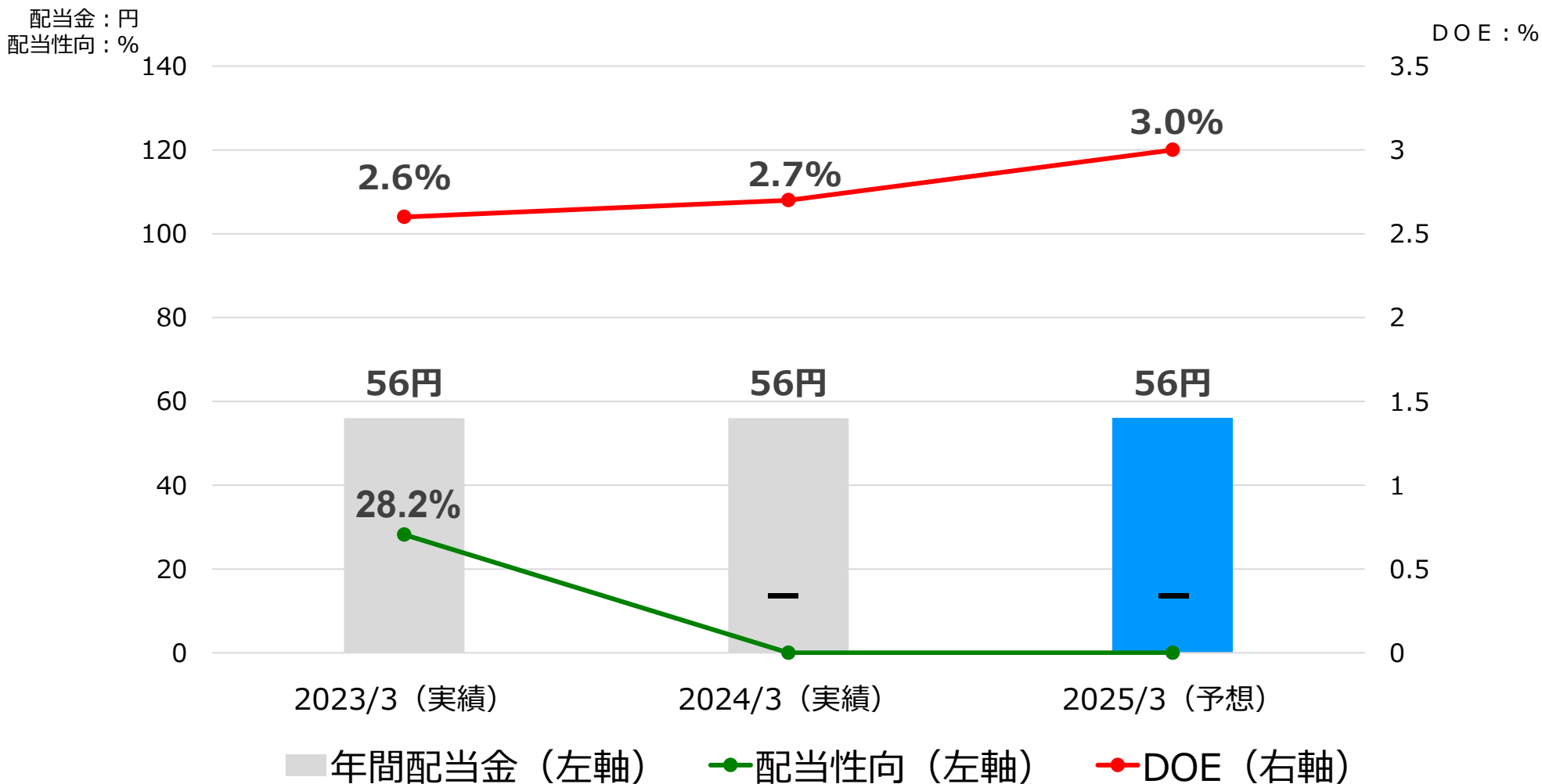
	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	対前年増減率
営業損益	▲1,778	400	—

株主還元

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として
連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元
の拡充として株主資本配当率（D O E）3%程度を当面
の目標として実施しております。

連結配当性向20%以上、D O E 3%程度を目標として還元

※業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません



トピックス

2024年度 経営方針（抜粋）

技術基盤を持つ企業として、半導体市場での存在価値を一層高めていく為の活動を推進。

- **中高耐圧製品の早期ラインナップ（トレックス）**
 - 産業機器、車載に向けた 高性能／高品質 製品
 - DC/DCコンバータ、コイル一体型DC/DCコンバータ
- **パワーデバイスビジネス推進（フェニテック）**
 - オリジナル技術開発
 - SiCデバイス、Si（パワーMOSFET、IGBT）、酸化ガリウム

PWM/PFM制御 36V高耐圧 600mA 降圧DC/DCコンバータ XC9704/XC9705 シリーズ

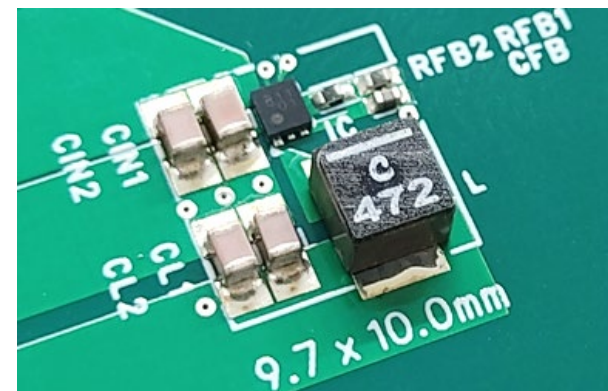
- ・ F-PWM、PWM/PFM自動切換制御
- ・ 同期整流 ドライバ FET内蔵
- ・ 入力電圧範囲 3.0V ~ 36V
- ・ SOT-89-5、DFN1820-6G

製品の特長

- ・ 高効率、低リップル電圧
- ・ 発信周波数：1.2MHz、2.2MHz
- ・ パワーグッド、UVLO、ソフトスタート外調
- ・ 電流制限、サーマルシャットダウン
- ・ 小型ソリューションを提供

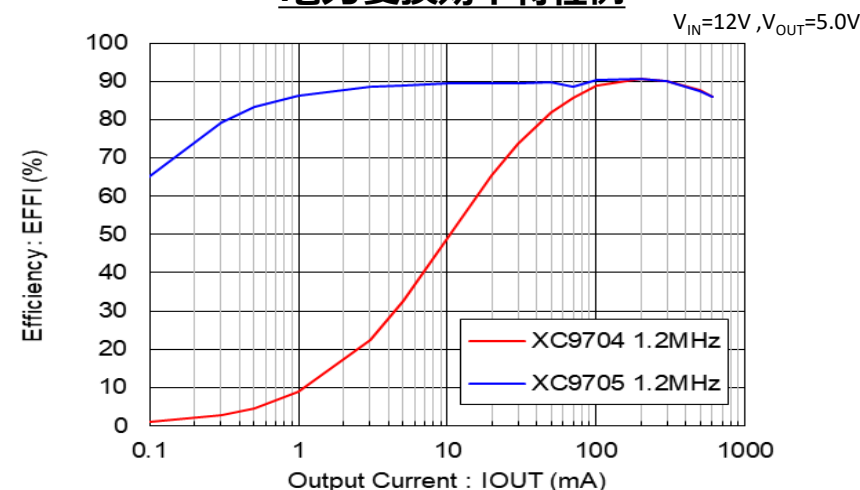
ターゲットアプリケーション

12V/24Vラインからの小型/低消費が必要な機器
工場・ビル・施設などのセンサ/セキュリティ機器
白物家電：エアコン等



36V 600mA 降圧DC/DC
小型/低消費ソリューション

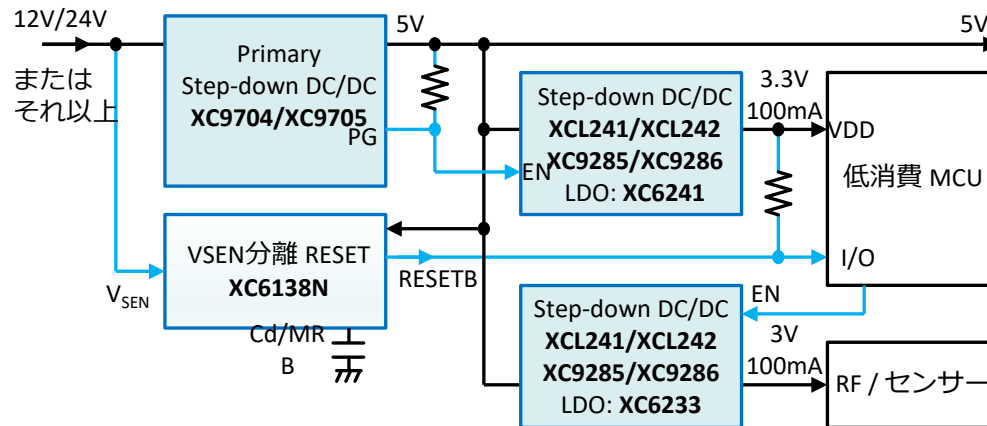
電力変換効率特性例



ターゲット市場例

- ・ 業務用エアコン、家庭用エアコン
- ・ 室内機／室外機
- ・ コントロールパネル（業務用エアコン）

⇒ 1つのセットに多員数が見込める。



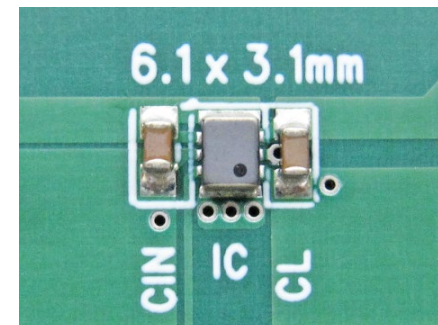
注1. メーカー出荷金額ベース
注2. 2024年度以降は予測値

矢野経済研究所調べ

成長続ける空調機市場

ドライバ内蔵 同期整流 1.0A 昇圧DC/DCコンバータ XCL109/XCL110 シリーズ

- ・ PWM固定、PWM/PFM自動切換制御
- ・ 同期整流 ドライバ FET内蔵
- ・ 入力電圧範囲 0.65V ~ 6.0V
- ・ パッケージ : CL-2025-02



XCL109/XCL110 実装基板

製品の特長

- ・ アルカリ／ニッケル水素電池1本の機器に使用可能
- ・ 発信周波数 : 3.0MHz
- ・ パワーグッド、UVLO 機能付
- ・ サーマルシャットダウン、電流制限、負荷切断
- ・ セラミックコンデンサ対応

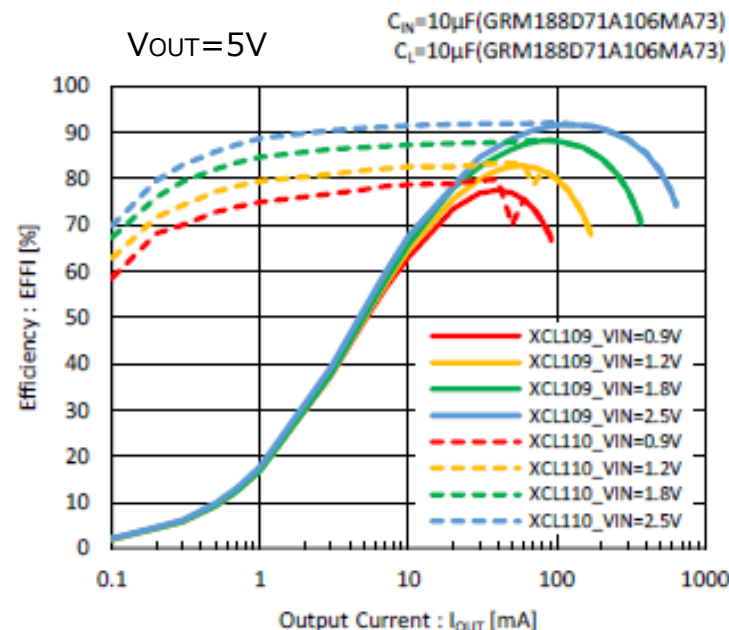
ターゲットアプリケーション

ポータブル機器、ウェアラブル機器

美容／健康機器

ゲーム／ホビー、PC周辺機器

電力変換効率特性例



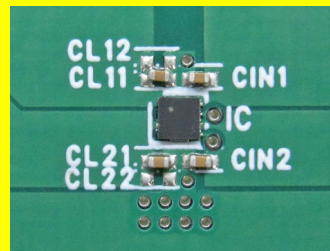
理想ダイオード機能を再現 500mA×2chまたは1A×1chロードスイッチ XC8112/XC8113 シリーズ

- ・ イネーブル付
- ・ 過電流制限／突入電流制限 機能
- ・ サーマルシャットダウン機能
- ・ 小型低背 USP-8B06(2.0 x 2.0 x h0.33mm)に封入

製品の特長

- ・ 入力電圧：1.5V ~ 6V
- ・ スタンバイ電流：0.65μA/ch
- ・ フォワード電圧：20mV
- ・ 電流リミット

XC8112	850mA
XC8113	1700mA

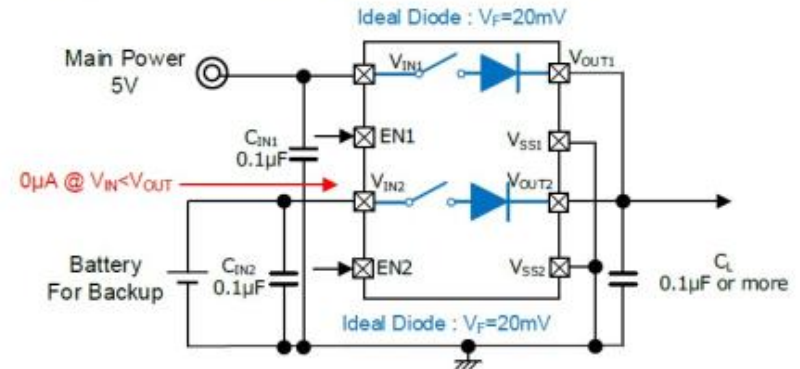


基板写真

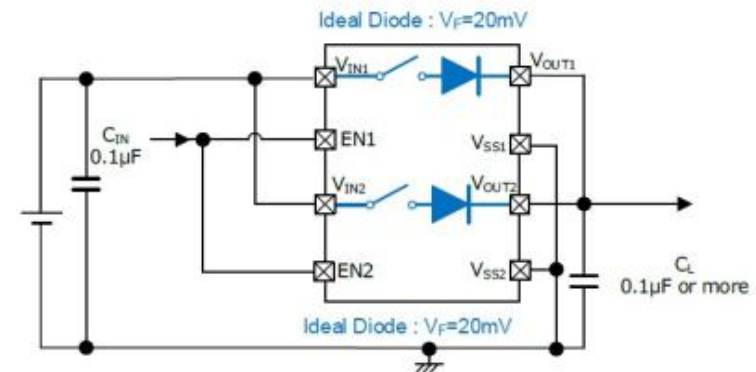
ターゲットアプリケーション

ウェアラブルデバイス、カード型デバイス、IoT機器
出力OR接続、バックアップ電源
ダイオードからの置換え

●OR回路：バックアップ回路等(XC8112/XC8113)



●パラレル接続(XC8112/XC8113)



出力OR接続、並列接続の例

評価されているトレックス製品

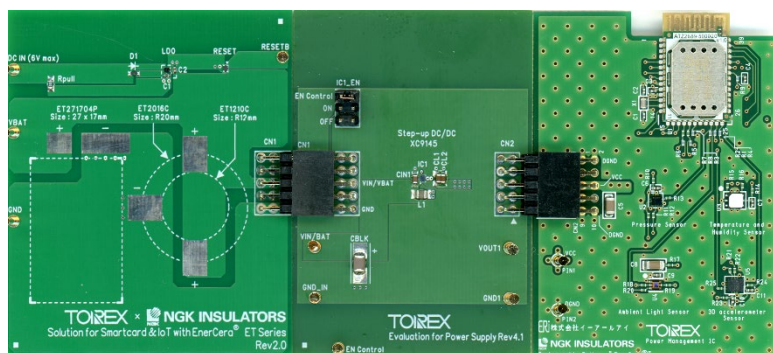
(株)イーアールアイ、日本ガイシ(株)、トレックス・セミコンダクター(株)

3社の技術を組み合わせ「環境発電デモボード」を2種開発

「環境発電デモボード EsBLE」は、

- ・ 日本ガイシの超薄型・小型リチウムイオン二次電池「EnerCera®(エナセラ)」
- ・ トレックスの超低消費電源IC
- ・ イーアールアイの低消費無線化技術

を組み合わせたボードとなっており、太陽光パネル、振動発電などのエネルギーハーベストで発電した電力にて温湿度、気圧などを測定し、BLE(Bluetooth LE)で送信することが可能です。



EsBLE TYPE1

ハーベストから電池への充電基板、超低消費高効率電源基板、測定、通信、制御のシステム基板に別れており、様々な仕様での検証が可能です。



EsBLE TYPE2

必要な機能をすべて実装したオールインワンボードとなります。エネルギーハーベストを接続するだけで、各種センサーでの測定とBLEでのデータ送信が可能です。

フェニテックセミコンダクター

New Vision

2024年1月 ビジョンの刷新

**ファウンドリ事業を通じ
すべてのステークホルダーから信頼されることにより
持続的成長を目指します**

For Further Growth Together

ファウンドリ事業

半導体前工程のウェハプロセス専門のファウンドリ事業を軸・強みとして事業展開を進めていきます。

ステークホルダー

ステークホルダーを、顧客・取引先・社員・株主・地域社会の人々等、私たちに関連するすべての人や団体と定義します。

信頼

会社として個人として、ステークホルダーと**相互に信頼関係にあるパートナー**となることを目指します。

持続的成長

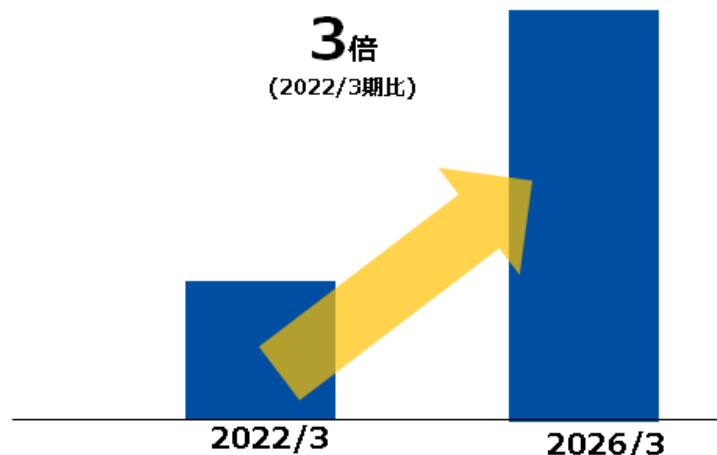
信頼をベースに、ステークホルダーと共に持続的に成長していく企業を目指します。

トレックス メインFABの一つとして鹿児島工場生産能力増強

- ・ アナログ電源IC 生産能力増強
- ・ 生産能力増強に関わる設備投資
3年計画 23.3期~25.3期 総額44億円
(25.3期 投資計画最終年度 10億円)
- ・ 生産装置搬入 稼働開始

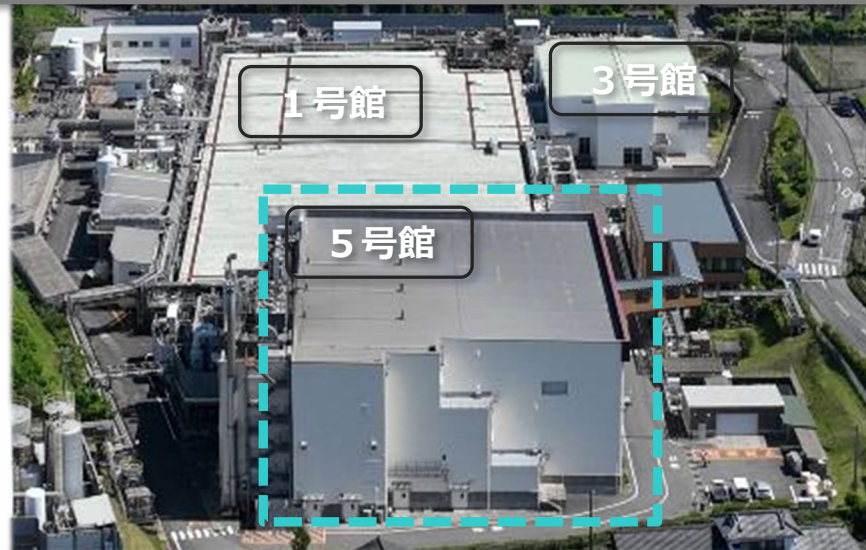


トレックス製品 生産能力枚数推移



トレックス製品の長期安定供給を実現

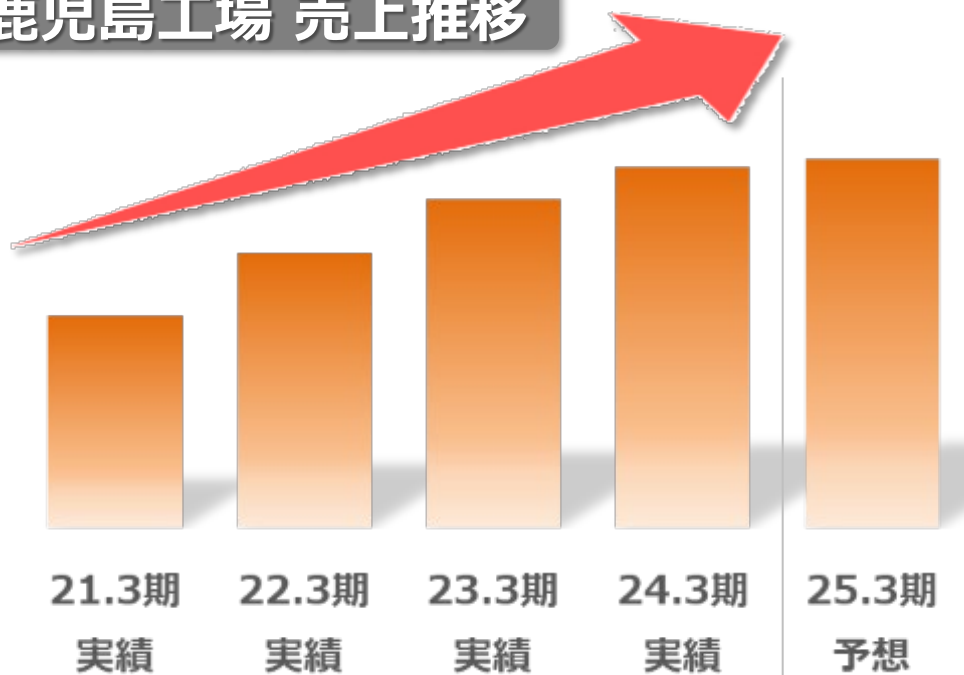
鹿児島工場5号館3階をクリーンルーム化



鹿児島工場の取組み

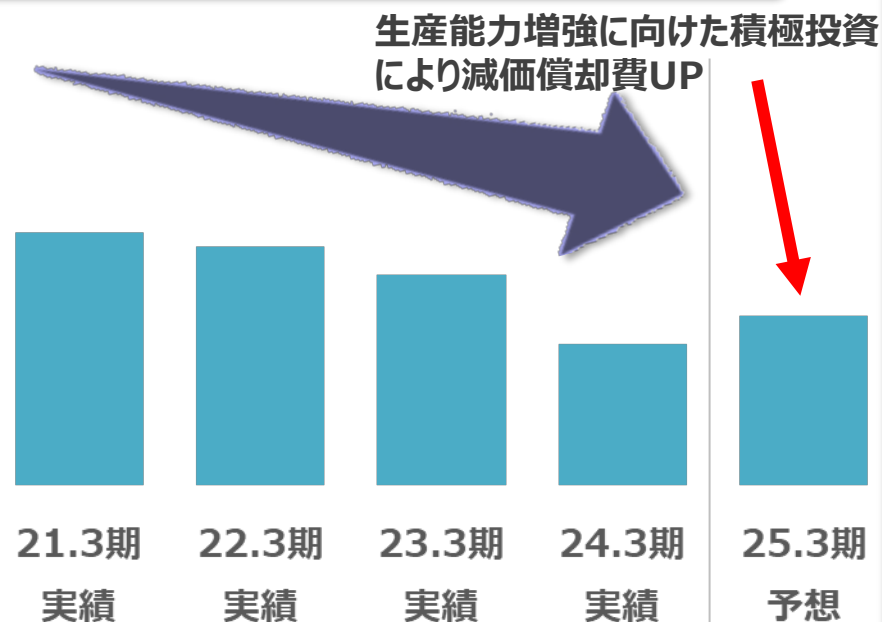
- ✓ 事業計画達成に向けた生産能力増強
- ✓ 製造固定費削減による安定した収益の確保
 - ・組織体制の改善
 - ・消耗品、修繕、消費電力削減
 - ・労働生産性向上によるCT短縮

鹿児島工場 売上推移



25.3期 2万枚/月 安定した生産体制へ

売上高に対する固定費比率推移



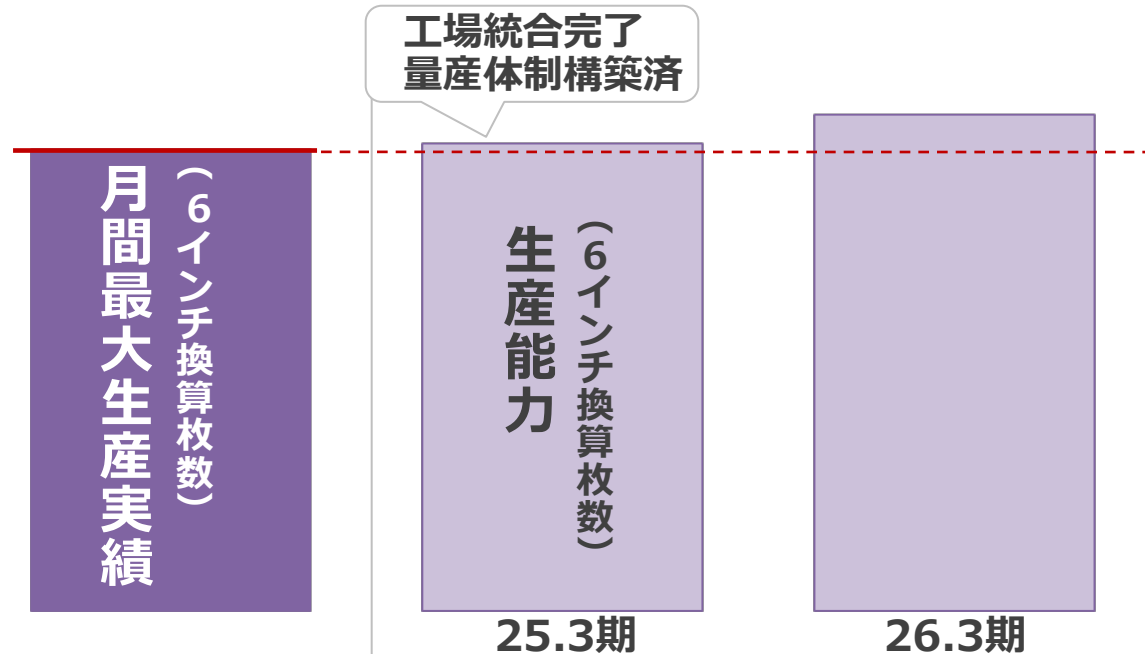
製造コスト削減により固定費比率低下

岡山工場の取組み

- ✓ 第2工場を第1工場に集約 B C P 対策と高い収益性・効率性達成
- ✓ 既存装置の生産性向上
 - ・交替勤務体制変更により働き方改革の実現と設備稼働率向上
 - ・変動費・固定費削減

岡山工場 生産実績/生産能力推移

工場統合に伴いインチサイズアップすることで生産能力を拡大



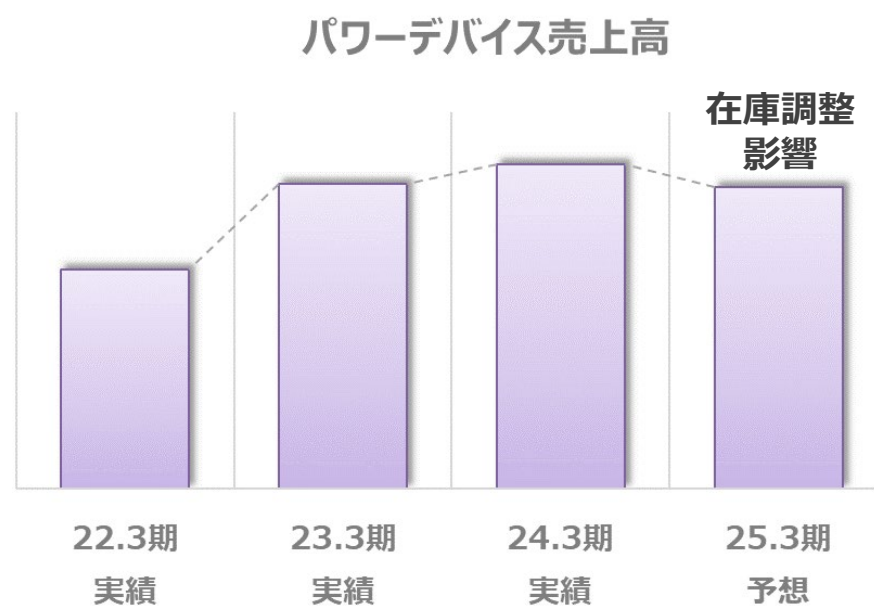
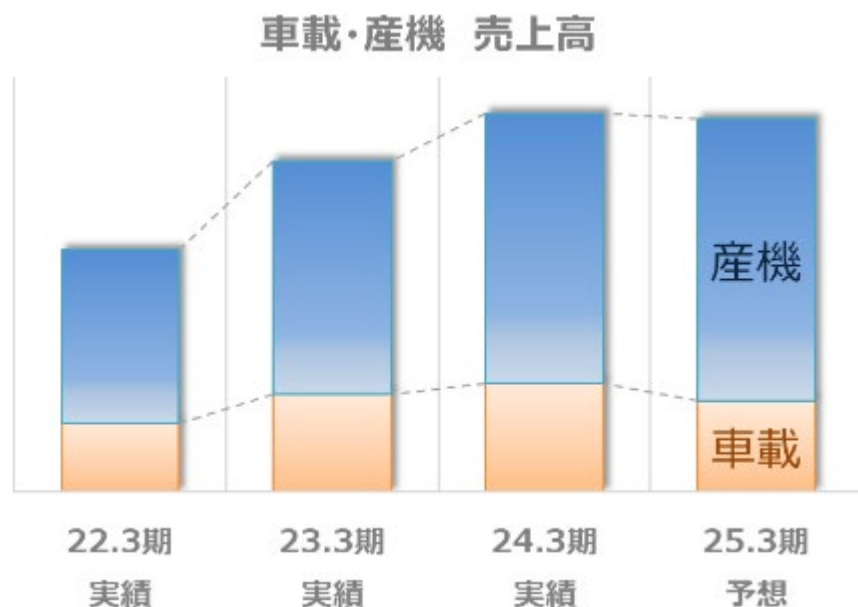
岡山第1工場



Siパワーデバイスの受注 市場の在庫調整による影響あり

要因：自動車の電動化、産業機器、5G、新エネルギーなど

デバイス：**IGBT、MOSFET**



化合物半導体材料に対応したプロセス技術開発 パワー半導体供給ニーズに応える

取扱い：**炭化ケイ素 (SiC)**、**酸化ガリウム (Ga₂O₃)**、**窒化ガリウム (GaN)**

✓市場要求に応えるパワー半導体の開発により更なる売上アップを目指す

Siパワーデバイス開発計画

24.3期

25.3期

26.3期

27.3期

新たなパワーデバイス開発により更なる売上アップを目指す

★ Low Vth MOSFET 量産中

・医療系、産業系など高密度実装機器をターゲットに低電圧駆動（1.5V以下）製品を開発

・ラインナップ拡充中

★ スプリットゲート型MOSFET

・非常に低オン抵抗を実現し、より小さなパッケージで高い電流密度を実現(電池の長寿命化等貢献)

・試作評価中

★ フィールドストップ型IGBT

・高入カインピーダンス、高いスイッチング速度、高耐圧且つ低オン抵抗素子フィールドストップIGBTの先端性能を目指した開発

・25.3期Q4量産予定
・ラインナップ拡充を計画(電圧,電流拡大)

シナジー効果

トレックス・フェニテックはパワー半導体を共同企画・開発 このモジュール開発には、当社のパワー半導体生産技術が多分に活かされます



SiCオリジナル品

SBD

650V 10A Gen.2,3

650V 6,8,10A Gen.4

650V 20A Gen.2,3

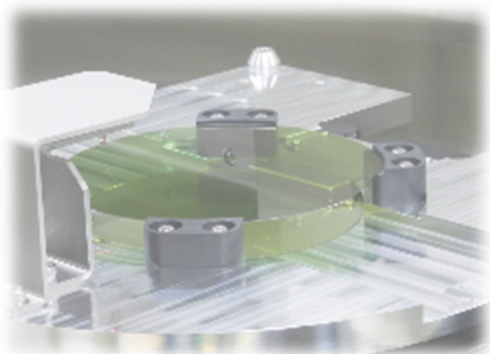
1200V 10A Gen.2,3

- ✓ 今後も市場要望にスピーディなシリーズ拡充で対応
- ・第2,3,4世代 サンプル提供中/顧客評価中

MOS FET

1200V 20A Planar/Trench

- ・プレーナー型 設計完了/サンプル作成
サンプル提供 2024年11月
- ・トレンチ型 開発中



当社設計オリジナル品SBDは
開発を終え、
量産フェーズへ移行しました

SiCファウンドリ事業

MOSFET

- ・ファウンドリ品量産中
- ・新規顧客開拓中

➤ オリジナル品、ファウンドリ品の生産による相乗効果で
付加価値の高い製品・ウエハ加工技術を提供します

2024年9月29日から10月4日にアメリカ・ノースカロライナ州ローリーで開催された国際学会「ICSCRM2024」に当社社員が出席しました。

会議では、当社社員が産総研との共同開発の成果についてプレゼンテーションを行いました。



【ICSCRM(愛称「アイスクリーム」)について】

International **C**onference on **S**ilicon **C**arbide and **R**elated **M**aterials

次世代パワー半導体素子に使われる炭化ケイ素 (SiC) に関する世界最大規模の国際会議

総勢1661名に及ぶ各国の企業、大学、公的研究機関が参画

国立大学法人岡山大学にて、2024年9月24日「先端半導体テクノロジー入門公開講座」を実施
本講座は、先端半導体の基礎的な動作及び産業応用を学びたいと希望する学生を対象とした夏季集中講座であり、半導体及びその産業応用に関する最新の知見を有する人材の育成を目的としています。
当社も講師として参画し、知名度向上・学生へのリクルート活動として、この講座に取り組んでいます。

この活動は、岡山大学及び岡山地域における半導体の人材育成を推進するとともに、半導体研究の活性化を図ることを目的としております。

今回の講義では半導体が現代の生活に不可欠な存在であることや、半導体産業が今後も成長を続ける見込みのある産業であることなどについて講義しました。



2024年10月16日 地元小学生を対象とした 工場見学会を開催
当日は6班に分かれて、岡山第1工場を見学 その後、大会議室にて当社の紹介やウェハーの実物を触る体験、当社に関するクイズゲーム、防塵服の試着体験を行いました。
このような機会が、子供たちにとって素晴らしい思い出となり、将来の職業選択の一助となれば幸いです。



第39回ネプコン ジャパン
- エレクトロニクス開発・実装展 -

第2回 パワーデバイス&モジュール EXPO

次回 ネプコン ジャパン パワーデバイス&モジュール EXPO に出展

- ✓ パワーデバイス ファウンドリ会社としての知名度向上
- ✓ 自社開発のパワーデバイス開発製品紹介
- ✓ ファウンドリビジネス紹介

大変好評を得た 前回の初出展を受けて、次回ネプコン ジャパンに、ブース規模を拡大して出展いたします。

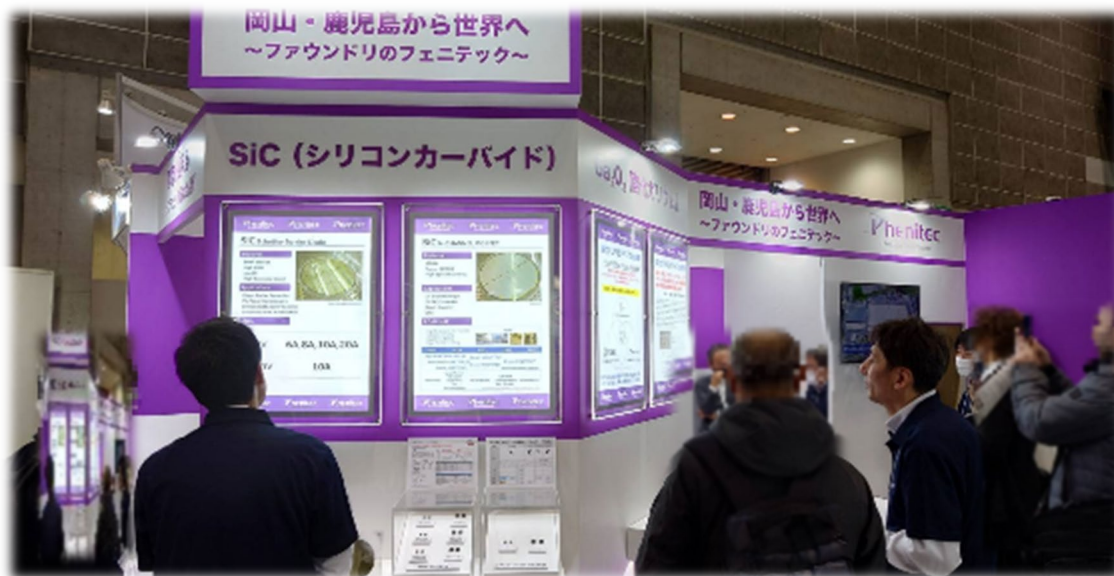
開催日

2025年1月22日(水)~24日(金)

会場

東京ビッグサイト 東7ホール

皆様のお越しを心よりお待ちしております



前回出展時 当社ブースの様子



前回出展ブース 展示品の様子

Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること



Appendix 会社紹介

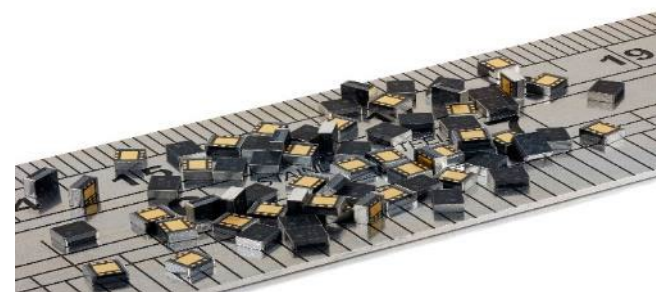
1995年に設立。2014年にJASDAQスタンダード市場に上場、東証二部、一部を経て、2022年4月に東証プライム市場に移行した半導体メーカーです。

アナログのチカラ

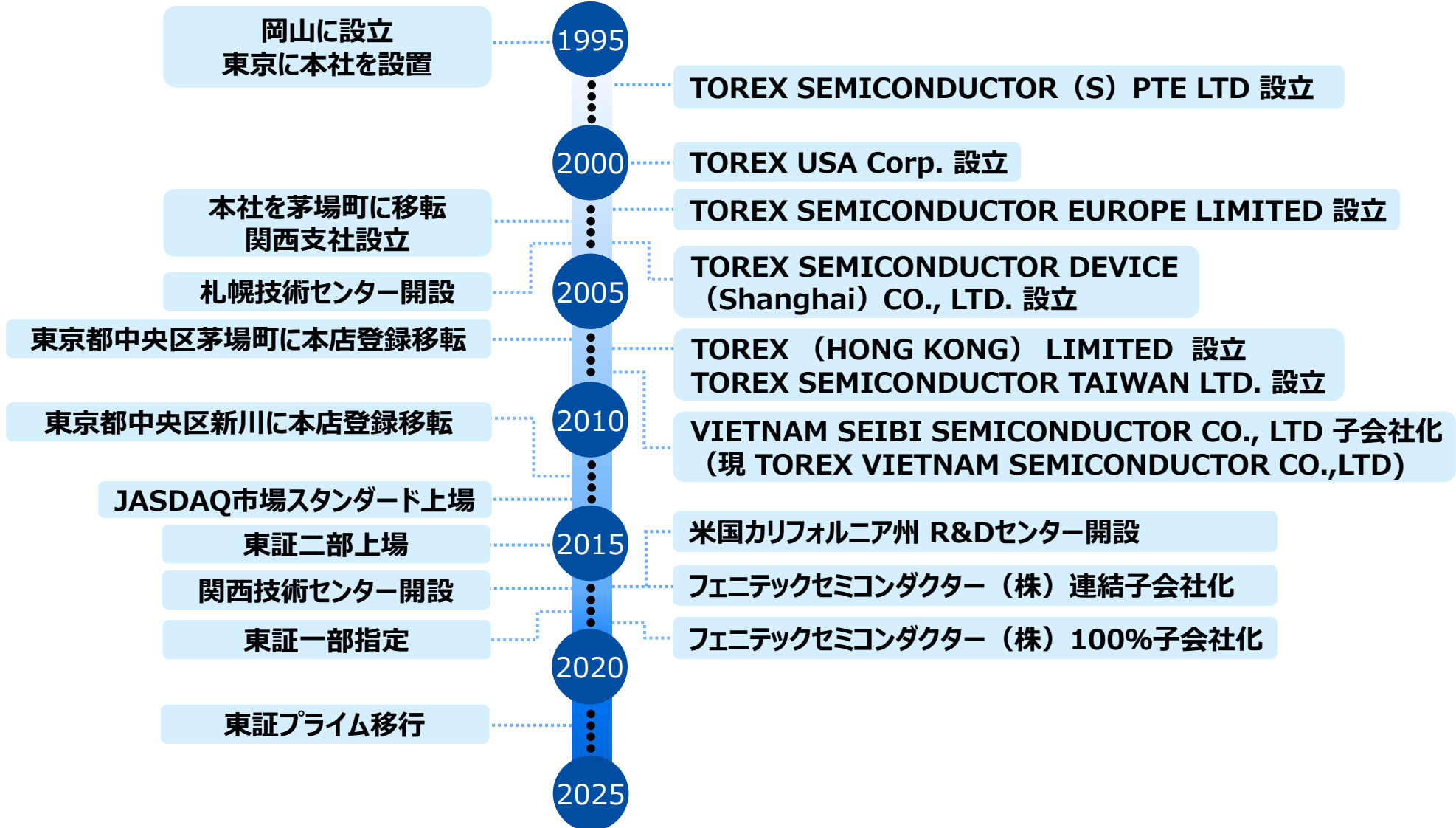
ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 3F
代表者	代表取締役社長 木村 岳史
資本金	29億6793万円（2024年9月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：188名 / グループ：1,040名
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業の発展に貢献してきました。



TOIREX



トレックス・ セミコンダクター

**ファブレスメーカー
アナログ電源IC専業**

強み

- ・省電力／小型化の技術
- ・蓄積されたアナログ回路ノウハウ
- ・マーケティングと製品企画力
- ・フレキシブルな生産工場
- ・高品質をキープするQC
- ・ワールドワイドの製品販売網

Phenitex
For Further Growth Together



フェニテック セミコンダクター

**半導体受託専業(ファウンドリ)
ディスクリート、パワーデバイス、
CMOSアナログプロセス**

強み

- ・高品質を支える生産ノウハウ
- ・長期安定供給のJapanFab
- ・車載 IATF16949取得工場
- ・専門性の高い製造対応力
- ・オリジナルデバイスの開発力
- ・パワーデバイスの開発力



トレックス・ セミコンダクター グループ

- ・顧客第一に徹した、小回りの利く対応力
- ・積極的なコラボレーションやM&Aによる協力関係の構築

**ファブレス&ファウンドリ
それぞれが本業を突き詰めたプロ集団となり、
相互補完でシナジーを発揮する。**

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外に9つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



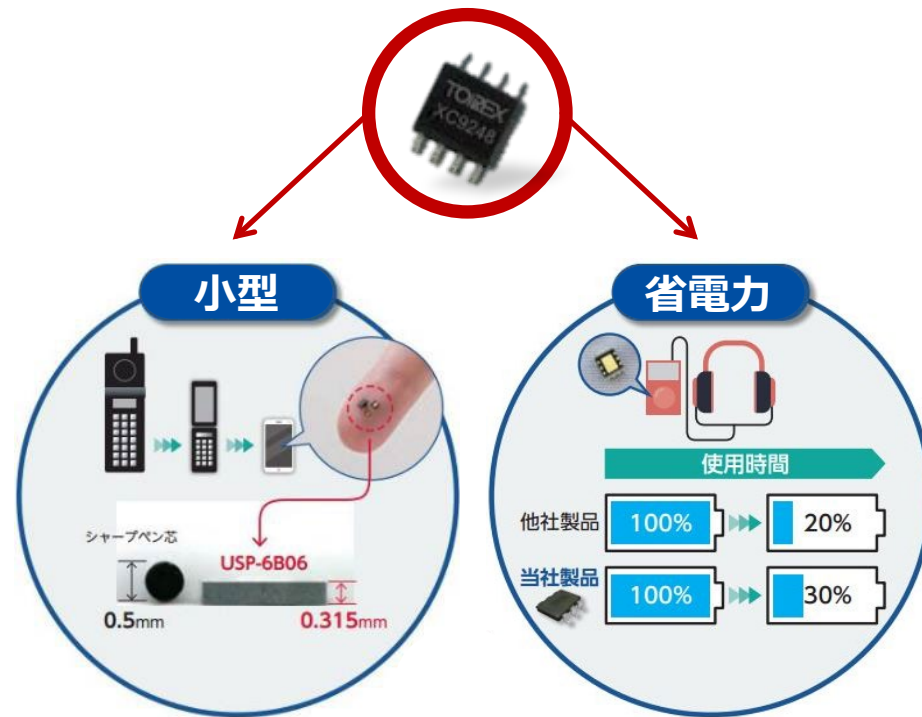
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

	トレックス・セミコンダクター	フェニテックセミコンダクター
事業形態	ファブレス	ファウンドリ
主な製品	<p style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;">省エネに貢献するキーデバイスを提供</p> <p>電源IC</p>	<p>ディスクリート パワー半導体 (SiC、GaN、酸化ガリウム)</p>
今後の重点市場	<p>産業機器 5G、IoTモジュール 全固体電池モジュール</p> <p>車載機器 自動運転、ADAS、車載カメラ 電子ミラー他、様々なECU</p>	<p>産業機器 産業用ロボット、鉄道、インバータ 発電施設（風力・太陽光）、パワーコンディショナー</p> <p>車載機器 EV向けパワー半導体 電装品</p>



5G



IoT



自動運転



EV

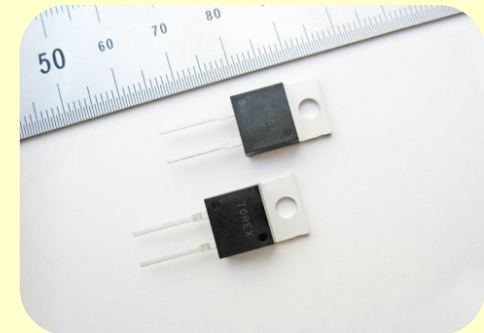
● トレックス 電源ICに加え、パワー半導体製品も強化

パワー半導体事業拡大の専任組織を設置し、強力に推進

- ・ **MOS-FET**ラインナップ拡充（低V_{th}製品、中耐圧大電流製品、低リーク）
- ・ **IGBT** 製品開発の検討
- ・ **SiC** 製品開発推進、製品の具体化
 - ⇒ **フェニテック製 SiC-SBD** トレックスよりPKG品サンプル提供中
 - ⇒ 順次、製品ラインナップを拡大
- ・ **酸化ガリウム**製品開発
 - ⇒ ノベルクリスタルテクノロジー社と共同開発

トレックスでは、フェニテックセミコンダクターが開発した、SiC ショットキーバリアダイオード 850V／10A品のサンプル提供を開始しました。

また、本製品を皮切りに順次 650V～1200Vの製品ラインナップ化を推進しております。



[SiC-SBD TO-220AC XBSC11A108CS](#)

トレックスの電源ICは、省電力/小型のスペックが評価されています。

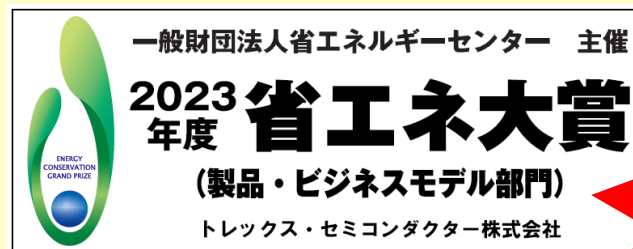
2023年度



日刊工業新聞主催

XC9145シリーズ：昇圧DC/DCコンバータ
回路の消費電流を400nAまで低減したPWM/PFM制御方式を採用することで、軽負荷時、特に数 μ Aの出力電流における電力効率を50~60%改善しました。

奨励賞
受賞



審査委員会
特別賞受賞

XC8110/8111シリーズ：ロードスイッチIC
理想的なダイオードを再現し、チップイネーブル(CE)、過電流制限、突入電流制限、サーマルシャットダウン機能等を搭載したロードスイッチICです。

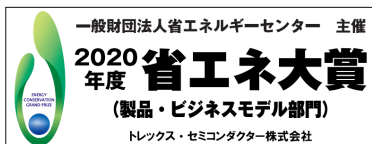
2022年度



日刊工業新聞主催

XC8110/8111シリーズ
ロードスイッチIC

2020年度



省エネルギーセンター主催

XC9276シリーズ
DC/DCコンバータ

2019年度



日刊工業新聞主催

XC9281/XC9282シリーズ
DC/DCコンバータ

2018年度



経済産業省主催

XC9265シリーズ
DC/DCコンバータ

2018年度



日刊工業新聞主催

XC6192シリーズ
ロードスイッチIC

本資料に記載された内容は、2024年11月19日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。